

令和6年度版

CROWN Jr.

評価のポイント



ここがイイ! ①

つけたい力を明確にした Unit の指導と評価計画

ここがイイ! ②

十分に指導をおこなった上での評価

ここがイイ! ③

わかりやすい、みえやすい評価規準・評価基準

ここがイイ! ④

丁寧なサポート

つきたい力を明確にしたUnitの指導と評価計画

学年ごとの目標【CAN-DO リスト】でつきたい力を明確に設定

CROWN Jr. は、学年ごとの目標（CAN-DO リスト形式の学習到達目標）を設定しています。学年ごとの目標に対して、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の点から何を指導するかを明確にしました。

目標からバックワードデザインで Unit を構成

一学年を3つのUnitに分け、学年ごとの目標からバックワードデザインしてUnitの目標を設定しています。

スモールステップでスパイラルな指導を実現

スモールステップでゆっくりと時間をかけて指導をすることができ、さらに Small Talk などスパイラルに何度も表現を扱うことで学びを深め、十分に児童の力が高まったところ（JUMP）で評価をします。

学年ごとの目標に基づいた評価

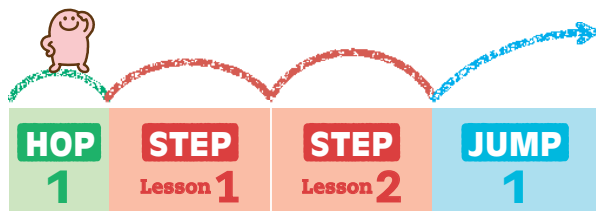
各Unitの評価は、学年ごとの目標に基づいておこなわれます。学年ごとの目標に対して、児童がどこまで到達しているかを把握することができます。

学年ごとの目標【CAN-DO リスト】を児童にも共有

別冊絵辞典 My Dictionary の「英語でできること【CAN-DO】」では、各学年でつきたい力を領域ごとに示しており、指導者と児童がめあてを共有することができます。また、教科書巻末「英語でこんなことができた!」では、児童がふりかえって自らの学びをとらえられるように、王冠マークで自己評価をします。

一年間の学び

Unit 1 自己紹介をしよう



Unit 2 あこがれの人を紹介をしよう



話すこと[やり取り]の例

Unit 1 の目標

自分のことやふだんががんばっていることについて、やり取りすることができる。

指導内容（「思考力、判断力、表現力等」）

- ①聞かれたことに適切に答える。
- ②相槌をうつ。
- ③わからないときには聞き返す。

話すこと[やり取り]の例

Unit 2 の目標

友だちや家族、自分のできること、他の人について、やり取りすることができる。

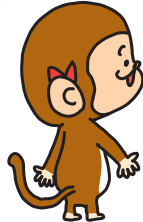
指導内容（「思考力、判断力、表現力等」）

- ①～③に加えて、
- ④相手の発話に対して感想を言う。

CROWN Jr. では、「目標と指導と評価の一体化」を大切にしているんですね。

2年間の学年ごとの目標 「英語でできること【CAN-DO】」

小学校では、こんなことができるようになるんだなあ。



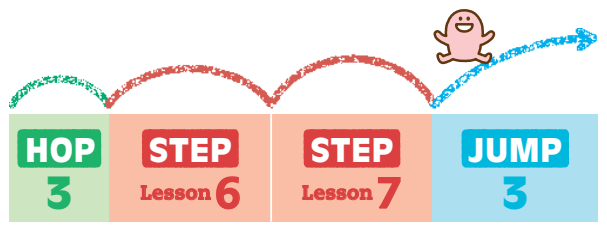
英語でできること【CAN-DO】				
聞く	読む	話す (やり取り)	話す (発表)	書く
5年生 ● 相手のことなどについて、具体的な情報を聞き取ることができる。 □ 相手の言っていること (Lesson 1) □ 相手の言っていること (Lesson 2) □ 相手の言っていること (Lesson 3) □ 相手の言っていること (Lesson 4) □ 相手の言っていること (Lesson 5) □ 相手の言っていること (Lesson 6) □ 相手の言っていること (Lesson 7) □ 相手の言っていること (Lesson 8) □ 相手の言っていること (Lesson 9) □ 相手の言っていること (Lesson 10)	● 大文字や小文字を声に出して読むことができる。 □ ABCのFun Box ● 音声を聴いたり、書かれた英語の意味がわかる。 □ 聞いたことがある単語や文 (Lesson 11, Lesson 12, Lesson 13) □ Story Time テキストの音読	● 自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、質問したり答えたりすることができる。 □ 名前や誕生日 (Lesson 14) □ ふんずること (Lesson 15) □ 好きな人の紹介 (Lesson 16) □ 好きなこと (Lesson 17) □ 好きな場所 (Lesson 18) □ 好きな人のこと (Lesson 19) □ 好きな動物のこと (Lesson 20) □ 好きな食べ物 (Lesson 21) □ 好きな季節 (Lesson 22) □ 好きな曜日 (Lesson 23) □ 好きな色 (Lesson 24) □ 好きな動物 (Lesson 25) □ 好きな場所 (Lesson 26) □ 好きな食べ物 (Lesson 27) □ 好きな季節 (Lesson 28) □ 好きな曜日 (Lesson 29) □ 好きな色 (Lesson 30)	● 自分のことなどについて、考えや気持ちなどを、内容を整理して話すことができる。 □ 地域の行事や地域の施設 (Lesson 31) □ 小学校の思い出 (Lesson 32) □ 中学生になったらしたいことや、将来の夢 (Lesson 33) □ 今の自分 (Lesson 34) □ 好きな動物 (Lesson 35) □ 好きな場所 (Lesson 36) □ 好きな食べ物 (Lesson 37) □ 好きな季節 (Lesson 38) □ 好きな曜日 (Lesson 39) □ 好きな色 (Lesson 40)	● 文字の音節が読まれるのを聞いて、大文字や小文字を書くことができる。 □ ABCのFun Box ● 自分のことなどを紹介する英語を、なぞったり、見本を見ながら書いたりすることができる。 □ 自分紹介 (Lesson 41) □ 好きな動物 (Lesson 42) □ 好きな場所 (Lesson 43) □ 好きな食べ物 (Lesson 44) □ 好きな季節 (Lesson 45) □ 好きな曜日 (Lesson 46) □ 好きな色 (Lesson 47)
6年生 ● 身の回りのことなどについて、具体的な情報を聞き取ることができる。 □ 友だちのこと (Lesson 48) □ 日本の行事や地域の施設 (Lesson 49) □ 小学校の思い出 (Lesson 50) □ 中学生になったらしたいことや、将来の夢 (Lesson 51) ● 物語の内容を、絵を見ながら聞いてとらえることができる。 □ Story Time 世界の国はなし	● 音声を聴いたり、書かれた英語の意味がわかる。 □ 聞いたことがある単語や文 (Lesson 52, Lesson 53) □ Story Time テキストの音読	● 自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、質問したり答えたりしてやり取りを続けることができる。 □ 友だちのこと (Lesson 54) □ 日本の行事や地域の施設 (Lesson 55) □ 小学校の思い出 (Lesson 56) □ 中学生になったらしたいことや、将来の夢 (Lesson 57) □ 好きな動物 (Lesson 58) □ 好きな場所 (Lesson 59) □ 好きな食べ物 (Lesson 60) □ 好きな季節 (Lesson 61) □ 好きな曜日 (Lesson 62) □ 好きな色 (Lesson 63)	● 身の回りのことなどについて、考えや気持ちなどを、内容を整理して話すことができる。 □ 地域の行事や地域の施設 (Lesson 64) □ 小学校の思い出 (Lesson 65) □ 中学生になったらしたいことや、将来の夢 (Lesson 66) □ 今の自分 (Lesson 67) □ 好きな動物 (Lesson 68) □ 好きな場所 (Lesson 69) □ 好きな食べ物 (Lesson 70) □ 好きな季節 (Lesson 71) □ 好きな曜日 (Lesson 72) □ 好きな色 (Lesson 73)	● 身の回りのことなどを紹介する英語を、見本を見ながら書いたりすることができる。 □ 自分紹介 (Lesson 74) □ 好きな動物 (Lesson 75) □ 好きな場所 (Lesson 76) □ 好きな食べ物 (Lesson 77) □ 好きな季節 (Lesson 78) □ 好きな曜日 (Lesson 79) □ 好きな色 (Lesson 80)

別冊絵辞典 My Dictionary pp. 44-45

話すこと[やり取り]の例

5年生の目標
自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、質問したり答えたりすることができる。

Unit 3 おすすめの場所を紹介しよう



話すこと[やり取り]の例

Unit 3 の目標
おすすめの場所、行きたい場所やそこでしたいことについて、やり取りすることができる。
指導内容 (「思考力、判断力、表現力等」)
①～④に加えて、
⑤相手の言ったことをくり返して理解していることを示す。

児童のふりかえり 「英語でこんなことができた!」

英語でこんなことができた!			
Unit 1 HOP 1 名前や誕生日、自分のことを伝え合うことができた。	STEP 1-1 好きな動物や、まだよくすることを伝え合うことができた。	STEP 1-2 好きな曜日、そこでしたいことを伝え合うことができた。	JUMP 1 友だちや先生に自己紹介をすることができた。
Unit 2 HOP 2 友だちや家族を紹介し合うことができた。	STEP 2-3 できることを伝え合うことができた。	STEP 2-4 できることを伝え合うことができた。	JUMP 2 さまざまな人であることや得意なことを伝え合うことができた。
Unit 3 HOP 3 おすすめの場所、そこでできることを伝え合うことができた。	STEP 3-5 好きな曜日、そこでしたいことを伝え合うことができた。	STEP 3-6 好きな曜日、そこでしたいことを伝え合うことができた。	JUMP 3 おすすめの場所、そこでできることを紹介することができた。
Fun Box 1 大文字や小文字の名前を聞いて、どの文字かわかった。	2 単語の読み方の音を表す文字がわかった。	3 単語を見て、その意味を聞き取ると結びつけることができた。	4 単語の読み方の音を表す文字を書くことができた。
Story Time テキストの音読 読めるようになったり、聞き取れるようになったり、物語を楽しんだりすることができた。	Story Time 世界のおはなし 絵を見ながら物語を聞いて、あらすじがわかった。	Try 一日の生活 毎日に自分の生活をする姿を伝えることができた。	Try プログラミング 図解を使って自動車を動かすことができた。

5年・6年 pp. 110-111



おかさくら 丘 桜子 先生

学年ごとの目標からのバックワードデザイン

児童の英語力を高めるためには、「目標と指導と評価の一体化」を実現することが重要です。「小学校学習指導要領」で示されている領域別の目標に基づいて、CROWN Jr. 版の「学年ごとの目標」(いわゆる CAN-DO リスト)を明確に作成しました。この「つけたい力」に基づいて、Unit を重ねながらスモールステップかつスパイラルに学べる教科書構成となっています。また、評価も「学年ごとの目標」に基づいて計画されています。「学年ごとの目標」は児童にも示し、ふりかえられるようにしています。



酒井英樹先生

十分に指導をおこなった上での評価

HOP・STEP・JUMPの中で、十分に指導をおこなった上で評価

1つのUnitは、HOP・STEP・JUMPで構成されています。

HOPでUnit全体の見通しを立て、児童それぞれが自らのゴールを設定します。

STEPの各Lessonでは新しい語句や表現に出会い、言語活動を通して慣れ親しみ、身につけていきます。また既習表現も使いながら、スパイラルに学習を進めていきます。Lessonの最後では、ふりかえりをするとともに、JUMPでどんなことが言えそうかの見通しを立てます。

JUMPでは、Unitで学習したことを思い出し、自らのゴールや、コミュニケーションの目的や場面、状況に合わせて発表活動をおこないます。

授業内のパフォーマンス評価、レッスン末テスト、ユニット末テストによる評価を実施

- 話すこと [やり取り] の評価は Let's Try のパフォーマンス評価、話すこと [発表] の評価は JUMP のパフォーマンス評価で実施できます。
- 聞くこと、読むこと、書くことの評価は、主にレッスン末テスト (チェックタイム) とユニット末テスト (チャレンジタイム) で実施できます。

▷領域ごとの指導と評価の詳細については、弊社ウェブサイトをご覧ください。

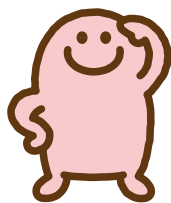


5年 Unit 1 の例

4月

5月

自己紹介をしよう



HOP
1

STEP
Lesson 1

レッスン末テスト



ジュン

こうやって自己紹介すればいいんだな。
よし! がんばるぞ!

誕生日が言えるようになった!
みんなの誕生日や好きなものもわかったよ。



ターニャ

●領域ごとの指導時期と評価時期 実線=指導 二重線=みとり ●=テストで評価 ○=みとりで評価

聞くこと

話すこと [やり取り]
話すこと [発表]

読むこと

書くこと

※書くことの評価は、5年 Unit 2 以降でおこないます。

評価のタイミングがわかりやすいですね。評価することに追われなくてもよさそうです。

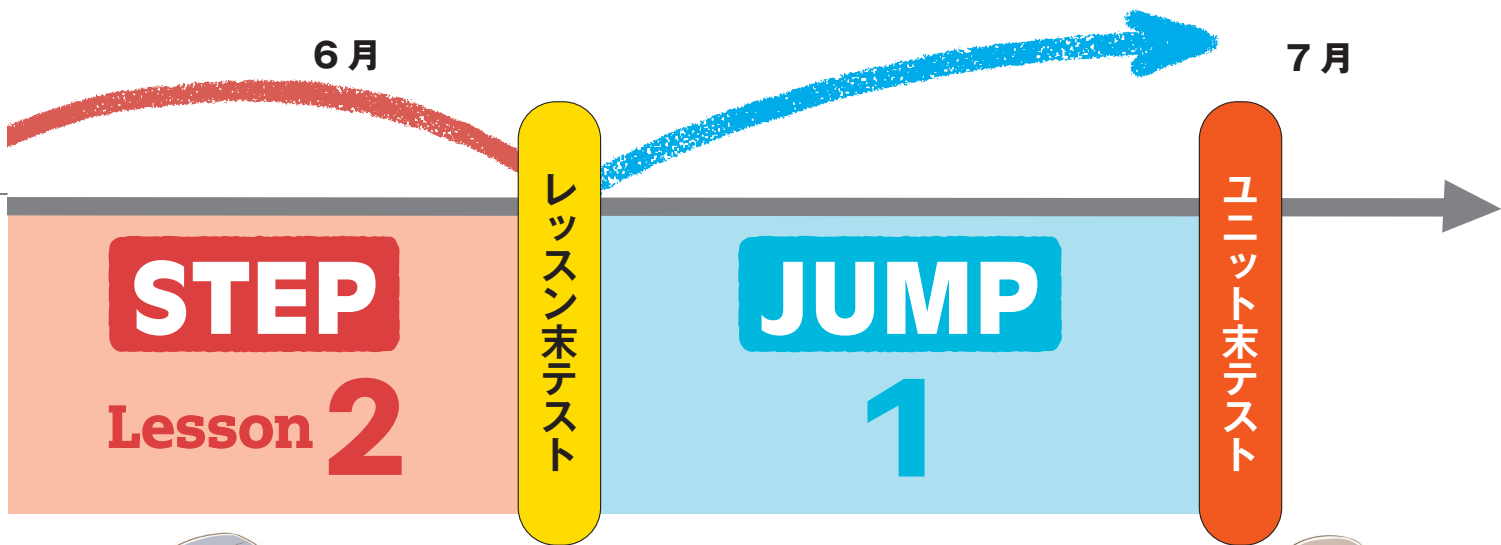


「指導と評価の一体化」を支援するユニット構成

各ユニットは、目標設定（HOP）→達成に必要な学習（STEP）→目標到達確認（JUMP）の流れになっているので、そのまま「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価になります。さらに「レッスン末テスト」「ユニット末テスト」「パフォーマンス評価」で、「知識・技能」「思考・判断・表現」も評価できます。ユニットに沿って指導すればよいので、評価のタイミングもわかりやすく、各領域を3観点で評価できる「指導と評価の一体化」を支援する教科書です。



今井裕之先生



ミン

友だちとふだんよくすることを伝え合えた！今度、ジュンとサッカーがしたいな。

みんなに自分のことを伝えられた。みんなのことも、前よりよくわかったよ。



ユミ

わかりやすい、みえやすい評価規準・評価基準

3 観点の評価規準を用意

評価場面では、3 観点の評価規準や評価基準を具体的に示しています。

5年 Unit 1 JUMP での「話すこと [発表]」の「知識・技能」と「思考・判断・表現」の評価基準例

[知識・技能]：

※ L = Lesson

A：①名前の言い方 (L1) ②誕生日の言い方 (L1) ③ふだんよくすることについての言い方 (L2) ④「何曜日に」の言い方 (L2) ⑤教科 (L2) の語句・表現について、すべてを正しく話している。

B：①から⑤のうち 4 項目について正しく話している。

C：①から⑤のうち 3 項目以下しか正しく話していない。

[思考・判断・表現]

A：目的に適した内容 (①あいさつをしている ②名前を伝えている ③自分についての (あまり知られていない) 情報 (誕生日含む)) を選択し詳しく伝えており、また話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話している。

B：目的に適した内容 (①あいさつをしている ②名前を伝えている ③自分についての (あまり知られていない) 情報 (誕生日含む)) を選択し伝えており、また話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話している。

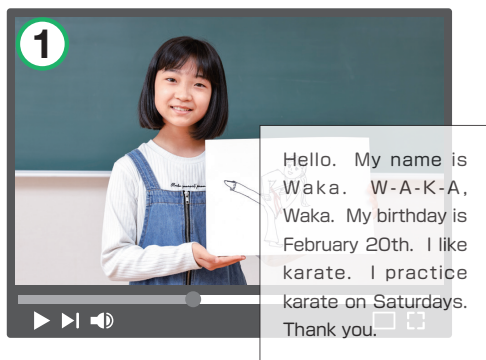
C：目的に適した内容 (①あいさつをしている ②名前を伝えている ③自分についての (あまり知られていない) 情報 (誕生日含む)) を選択し伝えていない、または、話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話していない。

動画でわかる！ A 評価と B 評価

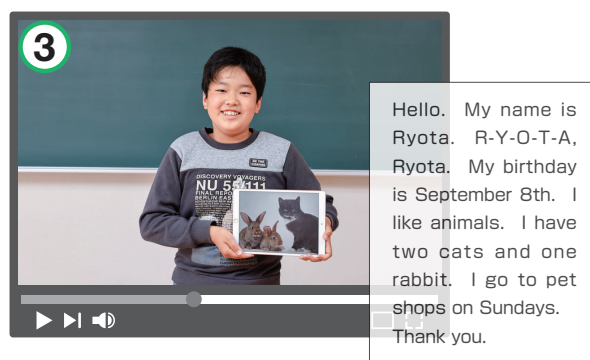
- 話すこと [発表] については、A 評価と B 評価の両方の例のモデル動画を用意しました。
- 指導書では、それぞれのスクリプトが掲載されています。

二次元コードから
動画が見られるんだ！

B 評価の例



A 評価の例



モデルがあると、
児童たちにも評価基準が
理解しやすいですね。



「百読？」は一見に如かず

評価規準(めざす姿)の達成レベルを文章化したものが B 評価・A 評価の評価基準(判断基準)ですが、文章を読んでも具体的なイメージやポイントがよくわからない場合があります。そこで、B 評価・A 評価の具体例を動画で用意しました。その動画をそのまま児童に見せる、あるいはそれを参考に先生方によるモデル動画を作成するなどして、具体的に何ができたなら B(A)評価なのかを児童と共有することができます。ぜひ一度ご覧ください。

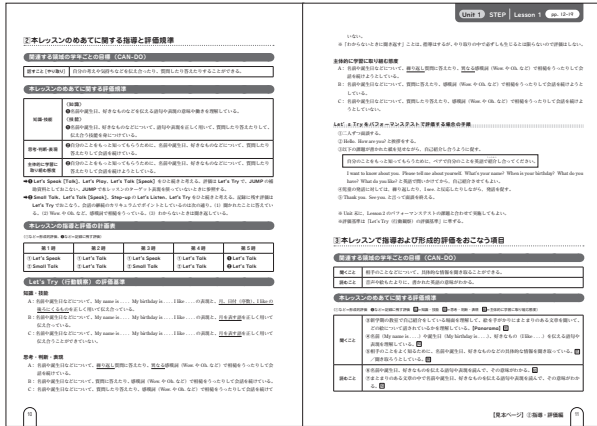


中西浩一先生

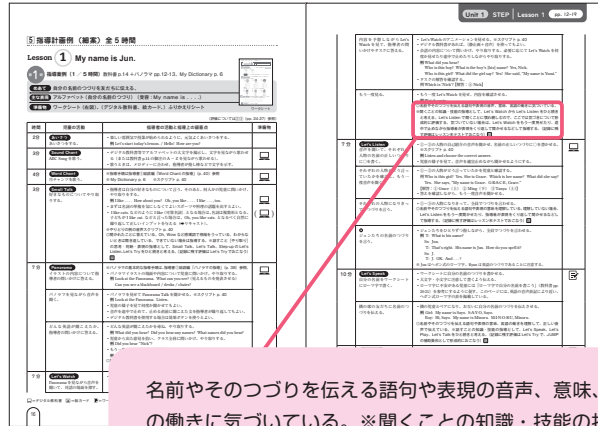
丁寧なサポート

指導改善・学習改善と、記録に残す評価のタイミングと方法がわかりやすい

- 指導書には、学年ごとの目標に準じてバックワードデザインしたレッスンごとの評価計画、評価規準を示しています。
- 指導案では、指導改善・学習改善と、記録に残す評価のタイミングと方法を示しています。



指導書サンプル



名前やそのつづりを伝える語句や表現の音声、意味、言語の働きに気づいている。※聞くことの知識・技能の指導として、Let's Watch から Let's Listen をひと続きと考える。Let's Listen で聞くことに慣れ親しむので、ここでは気づきについて形成的に評価する。気づいていない場合は、Let's Watch をもう一度見せたり、途中で止めながら指導者が表現をくり返して聞かせるなどして指導する。(記録に残す評価はレッスン末テストでおこなう) 図

指導したことを評価するペーパーテストを準備

- 指導したことの到達度がきちんとはかれるペーパーテストを用意しています。
- 指導内容と直結したテストを用意しています。また、「知識・技能」だけでなく、「思考・判断・表現」の問題も用意しています。




チェックタイム
レッスン末におこなうテスト。「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知識・技能を確認。




チャレンジタイム
ユニット末におこなうテスト。「聞くこと」の思考・判断・表現、「書くこと」の知識・技能を確認。

とくに「聞くこと」の「思考・判断・表現」の評価は難しいから、ペーパーテストが用意されているのは助かります。



めざした力を確かに身につけさせることができる評価

評価は、児童を目標とする姿へ導くための指導改善や学習改善をしながら適切におこなうことが大切。そのためには明確な評価計画が必要です。いつ、どのように評価するか、指導改善や学習改善をどのようにおこなうのか、その方法が、指導書には細やかに示されています。実際の指導に応じて、つきたい力を適切に測ることができるペーパーテストも充実しています。丁寧なサポートを活用することで、子どもたちに確実な力をつけさせることができます。



大田亜紀先生

令和 6 年度版
CROWN Jr. ウェブサイト

編修趣意書、内容解説資料、デジタル教科書(教材)の体験サイトなど、
さまざまな情報を掲載しております。

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/06cjpr/>



三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麹町五丁目7番地2 電話 03-3230-9411

●大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-3 電話 06-6341-2177

●九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 電話 092-531-1531